

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域高校と連携する町民バスラッピング事業
事業主体 (連絡先)	阿南町 阿南町長 勝野 一成
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	643,680円 (うち支援金: 482,000円)

事業内容

阿南高等学校と連携し、ラッピングバスデザインを作成した。

生徒とワークショップを行うことにより、公共交通の重要性、必要性を再認識した。

町内小中学校及び町民からラッピングバスの愛称を募集し、「まち愛バス ふみ子ちゃん」に決定した。

広報等で広く周知し、町民バスをより身近に感じていただくことができた。

検証期間2カ月ではあるが、利用者増に繋がった。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①前年度利用延人数の減少割合を25%に抑制
- ②高校生の地域交通に対する意識の醸成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

住民認知により、町民バスの利用人数の増加が図られた。

平成29年1.2月の利用人数 491人 (38日)

平成30年1.2月の利用人数 491人 (37日)

完成したラッピングバスを見て、高校生から「かわいく仕上がり乗ってみたい」「町民に愛されるバスになって欲しい」という意見が出された。また、ワークショップでは、「若者が帰ってくるために必要なもの」の意見に、「電車の本数、バスターミナル、公共交通機関、道、電車、土日のバス」など地域交通の必要性を再認識した。

※自己評価【A】

【理由】

ラッピングバスにより、減少抑制ではなく、利用者増が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

町民バス利用者数の推移を把握し、好評であれば残り2台のバスもラッピングする。

検証期間が2カ月のため、今後も利用状況を注視していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある